

中田 室内楽交響曲の世界 ～冬の調べ～



▲会場には美しい音色が響き渡っていました

心癒やされる優雅な音色

今回で20回目を迎える「室内楽交響曲の世界『冬の調べ』」が12月9日、石ノ森章太郎ふるさと記念館で開催されました。このイベントは、音楽に親しむ機会と楽器が奏でる音色の素晴らしさを楽しんでもらおうと毎年開催しているものです。演奏会では、東北大学交響楽団と木の家合奏団（東北大学交響楽団OB）の皆さんを迎え、交響曲を始めとした名曲が披露されました。会場では、庭園内の庭木や小川を彩る3万5千個のイルミネーションが灯され、幻想的な雰囲気の中、参加者は心が癒やされる音色に聞き入っていました。

迫 ポートやカヌーを清める



▲部活動の安全を祈願をする佐沼高校ボート部の首藤卓也主将（中央）

長沼で一年の安全を祈願

新春の恒例行事となっているボートの「初漕ぎ」が1月5日、長沼艇庫で開催され、ボート関係者30人が参加しました。この行事は、カヌーやボートを塩と酒で清めて今年一年の安全祈願を行い、長沼で初漕ぎを行うものです。当日は、氷点下の気温と強風のためボートを出すことはできませんでしたが、安全祈願終了後、お互いに新年の抱負を語り合い、艇庫内で器具を使ったトレーニングに励みました。とめ漕艇協会の湊敬一会長は、「平成29年度に長沼で開催予定のインターハイに出場できるように選手を育成していきたい」と話しました。

楽しいね。お正月あそび

今年最初の「たんぼば広場」が1月10日、豊里子育て支援センターで行われ、就学前の子どもとお母さん、おばあちゃんみんなでお正月あそびをしました。参加者は、タコの形をした凧作り、絵合わせやコマ回し、牛乳パックで作った羽子板と風船での羽根突きなどして楽しみました。子どもたちは、出来上がった凧を持って元気に走り回ったり、お母さんが持っている風船を羽子板でパシパシ叩いたりするなど、あちこちで笑い声や楽しそうな話し声が聞かれ、にぎやかな一年の始まりになりました。

新年初の「たんぼば広場」

豊里



▲親子でタコの形をした凧を作りました

気持ち新たに新年を迎える

新しい年のスタートを祝う新春懇談会が1月11日、登米町観光物産センター「遠山之里」で開催され、町内から約80人が参加しました。懇談会に先立ち行われた新春講演では、災害復興支援員として石巻市の小学校に勤務する傍ら、被災地の現実とそこに暮らす人たちの笑顔を撮り続ける活動をしている登米町三日町在住の川谷清一さんが「東北の絆を語る」と題し講演。川谷さん自身が震災ボランティア活動中に出会った人々の様子や出来事などを、写真や届けられたメッセージを交えながら話しました。

登米町で新春懇談会

登米



▲撮影した写真を手に被災地の状況を説明する川谷さん

米山 冬休み子どもフェスティバル



▲木製ストーンをターゲットに向けて送球するフロッカー

ニュースポーツで交流

子どもたちに地域で充実した冬休みを送ってもらおうと米山町子ども育成連合会などが主催する「冬休み子どもフェスティバル」が12月22日、中津山公民館で開催されました。当日は、米山町内の小学生84人が参加。紙コップを使ったけん玉作りや映画鑑賞、ニュースポーツなどが行われました。参加した子どもたちは、フライングディスクやフロッカーなど普段あまりした事のないニュースポーツを他の学校の子ともたちと一緒に体験することで、お互いの交流を深め合い、楽しい時間を過ごしていました。

東和 食育を学ぶ親子クッキング



▲親子で包丁を使って調理。手を切らないように慎重にね

一緒に作るとおいしいね

親子で料理を楽しみながら食育を学ぶ「親子クッキング」が1月9日、東和地域福祉センターで開催され、東和子育て支援センター「わいわい広場」で活動している親子25人が参加しました。当日は、ジャガイモを使ったおやき作りに挑戦。かわいいエプロンをつけた子どもたちが、野菜を洗ったり、生地を混ぜたりと、慣れない手つきでお母さんのお手伝いをしました。出来上がったおやきはみんなで試食し、「とてもおいしい」「家でも作ろうね」といった声が聞かれ、みんな笑顔で大満足の様子でした。